

11月9日(水)

お〜いお茶 新俳句大賞

高校生の部 大賞受賞

第三十三回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞において、本校3年の斉藤弥来(さいとうみく)さんが、高校生の部で大賞を受賞しました。

11月9日(水)、本校視聴覚室において表彰式が行われ、株式会社伊藤園葛飾支店長の毛塚様より、賞状・副賞などを授与していただきました。今回の新俳句大賞には約195万句の応募があり、その中で最も多い応募が高校生の部の約80万句だったとのこと。大賞受賞作品を紹介します。

石こうと夏の教室二人きり

本校は総合高校ですので、生徒たちは自分の興味関心や希望進路にあわせて専門的な学習を進めています。斉藤さんは美術を専攻していてイラストレーション部にも所属しています。この俳句は、美術専攻の夏期講習でデッサンの授業を受けた後、教室に残って石膏のマルス像のデッサンをしていたところ、ふと気が付くと教室には自分しかいなくなって、石膏像と二人きりになった時のことを詠んだそうです。

今回の受賞を大きな自信の一つとして、これからもいろいろなことに挑戦し続けてほしいと思います。

表彰式を開催してくださった株式会社伊藤園葛飾支店長の毛塚様はじめ、関係の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。



表彰式後、取材を受ける斉藤さん